漢検 2023年度 第3回 日本漢字能力検定試験問題

検定日 2024年2月11日

7級 (G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みを使うこと。旧字体を使ってはいけない。

答えは別紙（答案用紙）に書くこと。

氏名

（公財）日本漢字能力検定協会
〔不許複製〕

問題【1まいめ】

(一) 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えのらんに書きなさい。 (20) 1×20

1 庭園に梅の香りがただよう。
2 雪をかぶった山が遠くに連なる。
3 先生の号令で体そうを始める。
4 合唱コンクールで歌う曲を決める。
5 作文を原こう用紙に清書する。
6 苦労して絵画の作品を仕上げた。
7 手を挙げて反対意見をのべる。
8 待ち望んだ合格の知らせがとどく。
9 夕食の前に必ず宿題をする。
10 家から学校まで徒歩で二十分かかる。
11 畑をたがやして野菜の種をまく。
12 電車の中にかさを置きわすれた。
13 優勝を目標にして練習にはげむ。
14 住民が協力して川原をそうじする。
15 街頭で学生がぼ金活動をしていた。
16 人気商品が飛ぶように売れる。
17 登山隊がけわしい山道を進む。
18 美しい歌声に観客がはく手を送る。
19 沖を行く船が小さく見える。
20 灯台もと暗し

(二) 次の各組の――線の漢字の読みをひらがなで答えのらんに書きなさい。 (10) 1×10

1 休日につりに行く約束をする。
2 バレエの発表会で花束をもらった。
3 失敗しても決してあきらめない。
4 おどろきのあまり言葉を失う。
5 新しく野球チームを結成する。
6 運動ぐつのひもをしっかり結ぶ。
7 栄養のバランスを考えて食事する。
8 工業が発達して町が栄える。
9 この駅の周辺には飲食店が多い。
10 地球は太陽の周りを回っている。

(三) 次の――線のカタカナに合う漢字をえらんで答えのらんに記号で書きなさい。 (20) 2×10

1 さか上がりには自シンがある。
（ア臣　イ信　ウ身）
2 都道フ県の名前を白地図に書く。
（ア府　イ夫　ウ付）
3 母は家族のケン康を考えている。
（ア建　イ研　ウ健）
4 新幹線のシ定席を予約する。
（ア仕　イ指　ウ司）
5 おかの上まで弟とキョウ走した。
（ア教　イ協　ウ競）
6 係員にアン内されて席に着く。
（ア安　イ案　ウ暗）
7 車が海テイトンネルを通りぬける。
（ア定　イ低　ウ底）
8 試験カンがテスト用紙を配る。
（ア官　イ関　ウ管）
9 ねんざをした足首にホウ帯をまく。
（ア法　イ包　ウ放）
10 列車のダイヤがカイ正された。
（ア改　イ開　ウ械）

(四) 次の上の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、下の漢字の総画数は何画か、算用数字（1、2、3…）で答えなさい。 (10) 1×10

〈例〉正 3　字 6

1 良
2 望
3 関
4 陸
5 戦
6 熱
7 欠
8 量
9 健
10 典

(五) 次の漢字の読みは、音読み（ア）ですか、訓読み（イ）ですか。記号で答えなさい。 (20) 2×10

〈例〉力 ↓ イ

1 印
2 求
3 輪
4 飯
5 省
6 争
7 縄
8 要
9 漁
10 共

(六) 後の□の中のひらがなを漢字になおして、意味が反対や対になることば（対義語）を書きなさい。□の中のひらがなは一度だけ使い、答えのらんに漢字一字を書きなさい。 (10) 2×5

〈例〉室内―室 外

笑う―1く
最終―最2
有害―3害
中止―4行
本業―5業

しょ・ぞっ・な・ふく・む

問題【2まいめ】

7級

(G)

氏名

(七) 次の――線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で答えのらんに書きなさい。 (14) 2×7

〈例〉 (正)タダシイ字を書く。 正しい

1 (固)やりぬく決意をカタメル。
2 (願)世界の平和をネガウ。
3 (覚)まどを打つ雨の音で目をサマス。
4 (冷)谷川のツメタイ水を手ですくう。
5 (治)指のけががナオル。
6 (満)浴室に湯気がミチル。
7 (伝)村にツタワル歌を教わった。

(八) 次の部首のなかまの漢字で□にあてはまる漢字一字を、答えのらんに書きなさい。 (20) 2×10

〈例〉 イ(にんべん) 体(たい)カ・工作(さく)

ア 金(かねへん) 1(ろく)画・手2(かがみ)・3(ぎん)貨
イ 力(ちから) 4(ど)力・5(か)熱・6(ゆう)者
ウ イ(にんべん) 7(なか)間・労8(どう)・9(か)りる
左 10(がわ)

(九) 次の――線のカタカナを漢字になおして答えのらんに書きなさい。 (16) 2×8

1 地図で駅のイ置をたしかめる。
2 よごれたイ服をせんたくする。
3 千円サツを出しておつりをもらった。
4 夜空の星の動きを観サツする。
5 旅先で名サン品のりんごを買う。
6 犬を連れて川岸をサン歩する。
7 人気作家の小セツが書店にならぶ。
8 一人一人がセツ電に取り組む。

(十) 上の漢字と下の□の中の漢字を組み合わせて二字のじゅく語を二つ作り、答えのらんに記号で書きなさい。 (20) 2×10

〈例〉 校 ア門 イ学 ウ海 エ体 オ読 イ校 校ア

一、民 ア宿 イ径 ウ市 エ輪 オ陸 1民 民2
二、景 ア面 イ信 ウ結 エ夜 オ品 3景 景4
三、順 ア打 イ鼻 ウ清 エ路 オ梅 5順 順6
四、変 ア州 イ不 ウ児 エ械 オ化 7変 変8
五、差 ア客 イ別 ウ交 エ老 オ単 9差 差10

(十一) 次の――線のカタカナを漢字になおして答えのらんに書きなさい。 (40) 2×20

1 サク夜の冷えこみで池に氷がはった。
2 雪がしんしんとふりツもる。
3 図書館でシズかに本を読む。
4 学ゲイ会のげきの配役を決める。
5 体育ソウ庫にボールをかたづける。
6 算数でオクや兆の数について学ぶ。
7 キュウ食当番が牛乳(ぎゅうにゅう)を配る。
8 アメリカ人の先生とエイ語で話す。
9 今月のスエに引っこすことになった。
10 アイ用のリュックをせおって外出する。
11 春になれば兄は高校をソツ業する。
12 炭火でもちがこんがりとヤけた。
13 強風のために松の古木がオれた。
14 連休に親ルイの家へ遊びに行く。
15 クマ本県にある城を見学した。
16 ガラスの皿にリョウ理をもり付ける。
17 飛行キが空港から飛び立つ。
18 日本のセン手が金メダルにかがやく。
19 会場に各国のハタがかかげられる。
20 スきこそ物の上手なれ

――おわり――